

森山よしひさ

後援会ニュース

2014年7月
第23号

大阪市会議員の森山よしひさです。現在、無所属で党派を超え元氣にがんばっています。

せみの声が聞こえはじめ、いよいよ夏本番となってきました。各地域では夏祭りや色々なイベントがあり、みなさんとお会いできる機会が増える事に大変うれしく思います。

また、熱中症や冷たいものの取り過ぎには注意して、お身体のケアに努めて下さいます様よろしくお願いします。

百害あって一利なし！

大阪市を破壊に導く法定協議会

都構想は百害あって一利なしと堺市の竹山市長が勝利した時のフレーズは、まだ記憶に新しいところですが、民意を無視した乱暴な手法はまだ健在の橋下市長が1月31日に行なわれた第13回法定協議会で未完成の区割り案を自民・公明・民主・みらい・共産から「もう少し議論が必要」として否決されました。

議会ではだめなものだめと当然の事なのですが、これを不満とした市長は6億円以上もかけ3月23日に市長選挙を行い約5カ月間も法定協議が閉鎖されていきました。府議会では自民・公明・民主・共産の委員を全員



大阪市の解体は許しません。しっかりとみなさんの声を大阪市に届けます！



学校選択制導入に意見を唱える

森山議員

案は区民の代表として断固反対して意見してまいります。

学校選択制を考えよう！！

「僕感覚では大多数の市民は学校選択制を望んでいる」と橋下市長が言っていたのは記憶に新しいですが、間違った感覚で物事を進められては児童・生徒やその保護者はたまったものではありません。

大阪市24区のうち半数の12区で今年4月に始まった「学校選択制」。

2015年度、浪速が生まれ色々な問題が発生しています。

今年4月から始まった大阪市内の中学校では、入学者が44名も他の学校へ流れるという問題点も明らかになりました。このままでは年々生徒数の減少でその学校は統廃合の道へ進む事になり地域格差が広がる一方です。

大阪市は地域活動や振興町会が各小学校区で活動してきた歴史があります。このままでは地域も大阪市も弱体化し

確定申告・税務相談等

中企連浪速

06-6630-7200
Fax 06-6630-9260



区を除く23区に拡大する事になりました。

その中で唯一選択制の導入が見送られた浪速区ですが、なぜ、浪速区だけがこの様な形になったのか？そして各区で行われた説明会やマスコミが伝える情報はメリットばかりが強調される傾向にあるので、しっかりと議論が必要で

全国的に見ても選択制を廃止する自治体が増えてきているのが現状です。東京都では学力テストの公開と選択制がセ

て解体の道へ進められてしま

ます。もつと子どもの声が聞こえる浪速区を目指し、みなさんと共に考えていきたいと思



区民の命と財産を守る取り組み

浪速区防潮本部による水防工法実務訓練が行われました



団長に説明を受ける森山議員

6月22日(日) 雨が降りしきる中、立葉グラウンドで53名の団員による水防工法実務訓練が行われました。
水防団は河川氾濫など有事の際はいち早く土のう作りや堤防を作り区民の命と財産を守る任務です。
私も現地で団員の方々に直接お話しを伺い、防災訓練の必要性を認識しました。
区内では若い方の団員も募集しているようです。



一袋30～50kgの土を詰めての作業

収容避難所開設・運営訓練に参加してきました



図上訓練で町の弱みや強みをチェック



防災意識の熱気に包まれたワークショップ



震度体験ができる起震車

収容避難所開設訓練が6月29日(日)朝10時に上町断層帯地震が発生したと想定し、栄小学校にて行われ、森山議員も参加させていただきました。
栄小学校区の浪速連合では5月12日から1ヶ月間で図上訓練・避難所配置図の作成・自主防災組織を作る事・ロールプレイング練習・予行と事前確認を計5回に分けて行い、本番の避難所開設訓練に向け講演や実践が行われ、
本番の訓練では約300人規模の訓練になりました。
当日は地域の方々が研修で決めた集会所や公園などの一時集合場所に集まり、次に収容避難所である栄小学校に全員が集まりました。

収容避難所では自主防災組織の方々が連合本部及び避難所運営委員会を設置し、訓練を実施しました。その他には煙テント体験や起震車体験・防災アイデアグッズ体験があり、多くの参加者が熱心に学習していました。
また、地域の女性会の方では非常食のアルファ米(お湯を入れるだけで出来る)のかやくごはんなども参加者全員に配られました。
やはり実践をする事で課題や改善点が明確化して、とても有意義な訓練になりました。



訓練や地域コミュニティの大切さを訴える森山議員